

東澤瀉（ひがしざりや） 儒者。天保二年十月九日周防國岩國生れ、明治二十四年三月二十八日歿（一八一三—一九一）。 謹止純、通稱崇一郎、崇一。別號水月道人、澤瀉山人、白沙、迂莊子、陳樓主人、鼈邸主人。初の二宮錦水、江戸で佐藤一齋、安積良齋（とんざん）、大橋訥菴、また山田方谷、池田蓮菴等と學び、殊に安藝の吉村秋陽の陽明學を奉じた。歸國後、藩校養老館教官。慶應二年尊攘を唱へて精義隊を組織するも、隊士の舉動の責任を問はれ、柱島に流された。維新後、保津村に澤瀉塾を開き、奇貨と著述に從事。

著書は『證心餘録』（明治十七年八月山口・東敬治刊）池多數。